



第28回 元気になる森松展



来場者数

9月10日 64名

9月11日 70名

9月12日 9名

合計 143名

ご来場 ありがとうございます

実行委員長
吉岡 孝記



「第28回元気になる森松展」を9/10～9/12に開催させて頂きました。今回は新型コロナウイルスの中での開催となりました。最初は
どうすればよいのかと迷いましたが、3密を避けるため完全予約制とし、メーカー様への応援要請も取り止め、検温、消毒、ブースを区切る等、
密にならない様に人数制限をした上で、開催させて頂きました。また、ホームページに専用サイトを立ち上げ、ブースの写真・目玉商品
を観て頂ける様に等、残念ながらご来場が出来ないお客様に対しても色々な商品が分かる取り組みを行った他、リモートでの商品説
明も行いました。いつもとは違う初めての試みでしたが、良い経験になり、次回に活かしていけると思います。例年とは違う完全予約制
による少人数となった事で、ゆっくり回って説明が聞けたと喜んで頂けたお客様もいらっしゃいました。未だ収まらないコロナ禍の中
で143名のお客様に来場頂き感謝に堪えません。本当にありがとうございました。来年はいつもの展示会が出来るよう祈るばかりです。



第28回森松展より感じたこと

森 直樹 (代表取締役社長)



9月10日より3日間で開催されました第28回森松展、御来場いただきありがとうございます。またWEBサイトへの訪問も御礼申し上げます。この展示会では、過去の森松展では行われていないいくつかの試みがありました。【WEBサイトにての展示内容の公開 / 完全予約制での来場、またWEBサイトからの予約申込みに対応 / 携帯電話、タブレットを使ったリモートでの見学対応】これらの試みは、新型コロナウイルスの感染拡大という事態に対応しつつ展示会を開催するという結果として生まれたものです。またそれと同時に、展示会だからこそ弊社に来場していただき、新商品を見ていただくというこれまでの考えが変わりました。来場可能な方が、予約した上で来ていただき、弊社担当者が常に他の来場者の方との距離を測りつつ商品説明をするという形式にて行った結果、全体での来場者数は従来の3分の1近くになりましたが、個々の来場者の方と担当者との時間を長く取ることが出来ました。また担当者自身も事前準備としての商品知識も深めることが出来、今回の開催方式だからこそそのメリットもありました。来年の森松展では、今回のような内容での開催となるかは未定ですが今後も変化する状況に合わせての対策を検討し、より多くの皆様に森松展を知ってもらい、サイト訪問を含めた来場者を増やせるよう努力して参りたいと思います。また社内におきまして、開催直前までこの変化に対応すべく奔走し、見事にやり遂げることが出来たのは森松全体として大きな自信に繋がることと思います。皆さんありがとうございます！

車通勤

村田 恒夫（総務部）



新型コロナウイルスの影響で変わったことは、会社での新型コロナウイルス対応にて電車通勤は控える（公共交通機関を利用した移動より確実に感染リスクは低い）ことになり、29年間の電車通勤が車通勤に変わりました。電車通勤の時には、朝6時に自宅を出て（妻に車で稲沢駅まで送ってもらう）、稲沢駅から大高駅迄普通電車で36分（途中名古屋駅で約10分待避）、大高駅（月極駐車場）から車で会社迄15分でした。帰りは、会社から車で大高駅（月極駐車場）へ、普通電車で大高駅から稲沢駅へ、稲沢駅から自宅までは健康の為に歩いて（約1.5Km）帰っていました。私自身、車を運転することはあまり好きではないので車通勤は全く考えていませんでしたが、新型コロナウイルスの影響で車通勤をせざるを得なくなりました。ただ、車通勤をして感じたのは、電車通勤と違って待ち時間がない、車内での混雑もない、雨を気にする必要もない、今となつては、車通勤のほうが良いのかなと思うようになりました。ただ、交通事故を起こさないように安全運転に徹したいと思っています（私は森松(株)安全運転管理者です）。電車通勤から車通勤が変わって、会社帰りに居酒屋等へ行くことはなくなりました。あまりお酒を飲めない私ですが、少し寂しく感じます。テレビのニュース等でも、新型コロナウイルスの影響で飲食店（居酒屋）などの営業時間短縮または臨時休業等で売上が大幅ダウンで倒産、廃業するお店が多くでています。コロナウイルスの影響で多くの方がストレスを感じながら生活を送っています。このような状況でも、これから必ず良くなることを信じて頑張っていきたいと思いました。

森松展

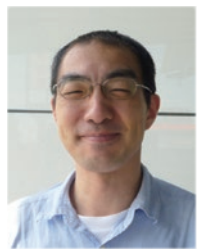
伊東 義弥（特販部）



今年も9月10日～12日の3日間で森松展を開催しました。今年はコロナ禍での開催ということもあり、出展していただいた会社の方はブースに立たず来場者も完全予約制という形での開催でした。またZOOMやSkypeを使って画面にブースを映しながら来場いただけなくても展示品が見れるようにすることも行いました。そして5階での受付ではなく、1階で受付を行い、コロナ対策としてアルコール除菌消毒、検温、マスク着用をお願いし準備万端で臨みました。特販部では毎年家庭向け通販のバイヤーさんに来場いただき1日ばかりでブースを回って新商品開発をしていくのですが、毎年お客さんがブッキングしてしまうため、だれか一人がついて回るような感じです。しかし今年は密を避けるため、お客様を極力少なくして来場時間も決まっているため、最後まで一緒にブースを見ていただきながら、じっくりと時間をかけてのと商談をすることができました。今までにないやり方で戸惑いもありましたが、たまにはこういった形も良いなと感じました。森松展が終わってからは、次のカタログに載るまでの間に商品開発をしていくため、各協力メーカーさんに連絡をしながら、ただ同じものでやるのではなく、オリジナリティを出して作りこんでいきます。今年は何点新商品ができるか？これによって来年以降の数字などにも影響してくるため今から必死で取り組んでおります。コロナ禍での開催ということで大丈夫か？という不安はありましたが、3日間何事もなく無事に終わることができました。改めまして今回の幹事の吉岡さんはじめ、皆様大変お疲れ様でした。また、出展いただきましたメーカー様、来場いただいたお客様、大変ありがとうございました。来年はコロナが収束して皆様にお会いできることを楽しみにしております。

どこか遠くに行きたい

松井 宣和 (製造部)



前回の波紋で本州最南端から最北端の旅の原稿書きましたが、その時、寄れなかったところがいくつかあったので、後日、長期休暇を利用していってきました。中央自動車道を使い新潟経由で日本海東北自動車道朝日まほろばICで下車、まずは、山形県鶴岡市にある加茂水族館へ、ここはクラゲで有名です。午前9時オープンで10時ごろ駐車場に入るのに500メートルぐらい渋滞の列…市道から水族館の方向を見ていると入場口で並んでる人が大勢。即あきらめ次に向かうのは、黄金崎不老不死温泉、前回日帰り客は4時半までに間に合わず断念した温泉。今回やっと入れました。海辺の露天風呂、手を伸ばせば海です本当に！目線と同じ高さに露天風呂があるので眺めは最高です。夏場でしたが1時間お湯に浸かっていました満足。温泉を出て大岩海岸へ、前回気が付かずに通り過ぎたところで、海岸線から50メートルぐらいに大きな岩があり高さが20メートルぐらいあって、浅瀬になっていて歩いて行けます。岩のてっぺん迄登れます。見晴らしは大変良く風があつて気持ちよかったです。次にブサかわいいで有名秋田犬「わさお」に会いに行ってきました。小屋を覗くと暑さのせいか、ぐったりしていました(睡眠中?)。5分ほど粘りましたが起きそうもないのでまた今度と思い先を急ぎました。残念ながら6月に天国へ旅立ってしまいました。長距離移動していると集中力低下で道を間違えた、ガソリンが無いとかありがちですが、今回、高速道路終点でETCレーンのゲートが上がらずそのまま突っ込みフロントガラスにぶち当たりながら通りすぎてしまいました。思わず「ワァー」と叫んでしまいました。道路わきに自動車を止め、係の人が飛び出てきたので事情を説明しました。原因は私が高速入り口のETCレーンからではなく一般ゲート(無人)から入り通行券も取らずに通ってしまったから…この時は、朝早く起きて運転していて寝ぼけていたんでしょうね。料金所の係の人には迷惑かけご丁寧な対応頭が下がります。前回の旅で本州最南端・北端と行くことができましたが自動車で行ける場所です。最終目的地の本州最東端(岩手県)へ行けなかったのがコロナが明け次第行ってみたいですがここは難所です。なぜかという道路がない車から降りて徒歩で片道1時間かかるそうです。

洋服の断捨離

大橋 康成 (配送部)



お風呂のリフォームを立ち合いが必要なので、立ち会いながら空いた時間を利用して洋服の断捨離しました。分譲マンションに入居してから二十年、掃除、整理整頓片付けはしますが、だんだんモノが増え片づけられない不要なモノが増えました。特にモノが増えるのは、洋服です。もったいなくて捨てられない、いつか着るかもしれないと思って捨てられない、高かったから捨てられない、思い出の服で捨てられない。自分では、なかなか捨てられないのでリフォームを頼んだ責任者、友達ですが、歳を取るに連れて片づけられなくなるからと言われ捨てるものを決めてもらいました。冬物、夏物と分けサイズが小さいものは捨てる。1年以上着ないものは捨てる。不具合のものは捨てる。服は消耗品なので古くなったらいつまでも取って置かずリサイクルに出そうと思いました。服もそうですが、靴も履かない靴が皆さんも多くありませんか。一度靴も断捨離してみたいと思います。



第28回元気になる森松展～フォトギャラリー～



今回の森松展では、受付でアルコール除菌、検温、マスクの着用を確認させていただき展示場へご案内させていただきました。

展示場ではラインを引きブロックごとに分かれるようにして密を避けられるようにして開催いたしました。新たな形での開催ではありましたが常時展示場はセットしてありますので皆様機会がございましたらご越しく下さい。

かき氷

小坂 美香 (企画営業部)



かき氷と言えば、以前まではお祭りの屋台で見かけるような、シロップのかかったシンプルなものが一般的でした。今では、ふわふわ食感の氷だけでなく、ソースを泡状に仕上げたエスプーマかき氷（エスプーマとは、スペイン語で「泡」という意味で、食材をムースのような泡状にできる調理法です。そんなエスプーマでソースをムース状にしたのが「エスプーマかき氷」です。ソースがモコモコしているので、ソースをかけた時に氷を溶かしません。また、氷の食感を損なわないのでフワフワのまま食べられるそうです。）、生クリームに覆われたホールケーキ仕立てや、野菜がゴロゴロ入ったかき氷など、見た目のインパクトもありSNSでも人気のスイーツになっています。一度食べてみたいなと思い、お店を調べていたら、岡崎市に「おかざきかき氷街道」というものがありました。岡崎市の東部の山あい広がる額田地域にある「神水（かんずい）」という地区で天然水が採水されます。この天然水はくせがなく口当たりがよく、ふんわりとしたとびっきりのかき氷作り



に最適なのだそうです。この神水仕込みのかき氷が8つのお店で味わう事ができます。地元で採れる柚子・ブルーベリー・梅・お茶・イチゴ・そば粉など、各店舗アイデアを凝らした手作りシロップかき氷が楽しめるのが「おかざきかき氷街道」です。開催期間は5月2日(土)～9月30日(水)までです。今年はコロナウイルスの影響もあり、行く事を諦めましたが、来年はぜひ食べに行きたいなと思いました。